

教育

月 暮らし
 火 科学・シニア
 水 文化・こだま
 木 暮らし・健康・学芸
 金 文化・エンタメ
 土 暮らし・こだま
 日

NIIE実践指定校の武生東高はこのほど、1年の全生徒188人を対象にした「新聞の読み方講座」を開いた。生徒たちは、批判的思考力や情報分析力を育むツールとして新聞の重要性を学んだ。センター試験に代わって2

020年度に始まる「大学入学共通テスト」では、複数の文章や図、グラフなどの資料を読み取らせる問題が多く出

新聞活用をテーマにした授業で、当日の朝刊に目を通す生徒たち＝3月、越前市の武生東高



新聞で批判的思考力を

武生東高

1年生「読み方」学ぶ

題される見通し。身近な資料の新聞に親しみ、調べる力を付けようと授業を企画し、福井新聞社編集局の川塚康弘部長を講師に招いた。

川塚部長は、SNSでは自分の好む話題や自分と似た意見ばかりに関心を持つ傾向があるとし、世の中の動きを俯瞰でき、いろいろな角度から報道される新聞を読んで、情報を見極める確かな目を養ってほしいと強調した。

この日の朝刊をめくりながら、新聞の読み方として、見出しや気になった記事だけをざっと見る「朝バラ」を提案。

複数のメディアの情報に触れながら、異なる視点を想像する批判的思考力を磨いてほしいと訴えた。

また、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを踏まえ「地域の課題に目を向け、市民として自分はどう考えるか」という意識を持つことが大事」とし、社会を知るテキストとして新聞を活用するよう呼びかけた。

授業を受けた金子武司さんは「インターネットの情報をよく見るが、誰が書いたのかわからないものもあるし、新聞から確かな情報を仕入れていきたい。大学受験に向けてしっかり読むようにしたい」と話していた。

(宇野和宏)